

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	A.Y.	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	3年	派遣国	ドイツ
派遣大学	ゲーテ大学		
期間	2023年9月23日～2024年8月30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (45000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩 15分バス停まで、バスから) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	70000 円	ほとんど自炊をしていたので、食材を買うお金は平均で月 100 ユーロくらいだった。そのほかに食堂で食べたお金も踏まえてこの金額になる。
学用品購入費	6000 円	文房具代など
交通費	円	ヘッセン州内では無料
交際費	円	
その他	3300 円	テレビ通信料 (払わなければならない)
合計	79300 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

大学や寮の周辺が安全だと思いますが、2024年4月から大麻が受け入れられているため社会に対し戸惑いを感じていました。フランクフルト中央駅の周囲に大麻を吸う人が多いので一人で行かない方がいいです。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(12,5230) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (ドイツ・フランクフルト)

フランクフルトは暮らしやすい街だと思います。緑が多く落ち着いています。それでいて大きなスーパーやイケアなどがあり生活に困ることはありません。留学を始めた時ある程度の困難を感じていました。バスの乗り方や買い物の仕方など、新たな環境の中で多くのことに分からないので困りました。しかし、時の流れとともにこの環境にも慣れることができました。寮のパーティや留学生向けのイベントに参加する中で多くの友人を作ることができ、彼らと楽しい日々を送っています。一方、フランクフルトでは数々の博物館や美術館があるほか、多様なイベントが開催されることから、文化の薫り高き街だと感じています。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ゲーテ大学	所在地	フランクフルト
最寄空港	フランクフルト空港	空港からの距離	タクシーで 15 分～20 分
空港⇄大学	(フランクフルト国際空港から Sbahn と Ubahn を使用して、寮の最寄り駅まで行きました (Frankfurt Airport→ S9 → Frankfurt Hauptwache→ U6or7 →Leipziger Strasse)。		
			*移動手段
学生数	43360 (2022/23 時点)	留学生数	約 6000～7000 名
学部	法学部 経済経営学部 社会学部 教育学部 物理学部 化学・生物学部 心理・スポーツ学部 プロテスタント系宗教学部 カトリック系宗教学部 哲学 言語学部 文学部 地学 情報・数学部 医学部		
			*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。
学部/専攻	経済経営学部 (economics and business administration)		
			*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。

2. 週間スケジュール

① (2023/10)月～(2024/2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	図書館	10:00~12:00 Seminar (the role of ESG in corporate ratings)	図書館	文献を読む Central bankingのグル ープワーク	
午後	14:00~18:00 Leadership in the financial industry	文献を読む、二 週間一回 esg のグループワ ーク		14:00~16:00 Seminar (topics in central banking)	14:00~16:00 Tutor (ESG)

② (2024/4)月～(2024/8)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	図書館		10:00~12:00 Macroeconomics	10:00~12:00 Seminar (The economics of structural change) グル ープワーク	図書館
午後	12:00~14:00 Macroeconomics 14:00~16:00 Macroeconomics of climate change		14:00~16:00 Macroeconomics of climate change	12:00~14:00 Macroeconomics	14:00~16:00 Macroeconomics (Tutor class)

3. 履修内容

科目	Leadership in the financial industry		
履修期間	2023/10~2024/2	単位数	6 ects
授業内容／形態	教授がスライドを使って進める一斉授業&グループワーク 基本的なリーダーシップ理論とモデルを応用する能力を深める授業。また、ケーススタディとグループワークを通じて他人とのコミュニケーション能力を育成する。		
成績	3.3		
YCU 振替予定	科目	組織行動論	
	単位数	2	
	担当教員	吉永 崇史	

科目	The role of ESG corporate ratings		
履修期間	2023/10~2024/2	単位数	6 ects
授業内容／形態	セミナー・グループワーク・プレゼンテーション ESG 投資の拡大とともに機関投資家の関心が高まっており、既に欧米では投資判断に必要となる人的資本に関する情報の開示が義務化される。そのセミナーでは、ESG 評価に関する最も関連する問題の概要を得る。		
成績	1.7		
YCU 振替予定	科目	資源循環論	
	単位数	2	
	担当教員	青 正澄	

科目	Topics in central banking		
履修期間	2023/10~2024/2	単位数	6 ects
授業内容／形態	セミナー・グループワーク・プレゼンテーション 中央銀行の通貨政策決定、非通常の通貨政策ツールに関する主なテーマを深め、金融政策機関の現在の運営を理解する。そのセミナーでは ECB (European central bank) の活動を中心に紹介する。		
成績	2.0		
YCU 振替予定	科目	金融システム論	

	単位数	2
	担当教員	高橋 豊治

科目	The economics of structural change		
履修期間	2024/4~2024/8	単位数	6 ects
授業内容／形態	セミナー・グループワーク・プレゼンテーション 経済変化の原因と労働市場、不平等、生産性、経済成長に及ぼす影響について勉強する。また、生産性、経済成長への影響に関して、家計生産や欧州雇用のジレンマ、経済の構造変化と景気循環の関連性など、様々なトピックを習得する。		
成績	2.3		
YCU 振替予定	科目	資源経済学	
	単位数	2	
	担当教員	大塚 章弘	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

ドイツに交換留学したい理由としては、中学校の時にドイツ語を半年くらい勉強したことがあり、ドイツの街並みや文化に興味を持ち、ゲーテ大学に志望しました。

ゲーテ大学の雰囲気としては留学生が溶け込みやすいと思います。留学生向けのイベントなども毎週開かれているため、新しい友達も見つけやすく、本当にいい大学だと思います。食堂やカフェテリアもいくつもありました。図書館での勉強に疲れたら、カフェテリアでコーヒーを飲んだり、ケーキなど何か甘いものを食べるのもリラックスしたと思います。

講義に関しては、私が履修した授業はほぼすべて期末試験 100%でした。ただ三つのセミナーはプレゼンと期末レポートを加えて成績をつけます。最初セミナーに参加した時凄く緊張して、初めてたくさんの人で英語を話すのは慣れないですが、毎日練習して、同じグループの学生たちもアドバイスを与えてくれるので無事に終わることができました。日本でのプレゼンと違い、先生がプレゼンの途中で質問をする可能性もあります。自分が研究したトピックに関する研究や問題も関心を持って必要があります。終わった後には先生も褒めてくださり、やって良かったと思いました。その二つのセミナーを履修した英語力はもちろん、情報を集める能力も高めると思います。また、レポートを書くためにほぼ毎日英語ニュースを読み、読み慣れることと、知っているトピックの数を増やすことを意識しました。知らないトピックを読むより、少しでも知っているトピックを読む方が理解度も読むスピードもあがると考えています。この一年間に英語力を伸ばすことができると思います。

そして、大学の学生証を手に入れると、いろいろなメリットがあります。2024 年 4 月の時点からドイツのすべての公共交通機関を無料で利用できました。(IC, ICE, EC などを除く) また、ほかの EU 同盟国に行く時、EU 圏内の大学の学生証が持ったら多数の博物館や美術館に学割があります。フランクフルト市内ではほぼ全部の博物館が無料でした。その機会でも様々な博物館に見学し、いろいろ勉強になりました。また、フランクフルトはドイツの中部に位置して、スイス、フランス、ベルギーなどの国に行くでも便利です。もし三日間の休みがあれば友たちと一緒にどこかに行くのが楽しいです。

その一年間の留学生活では勉強だけではなく、時々旅行などリラックスをしました。留学を通して、異なる文化に触れて、いろんな人と出会いより充実な留学生活を送ると思いました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

ドイツでは様々な国や言語を話す多様性のある社会であり、言語の習得の可能性も広がると思います。今回ドイツに交換留学をきっかけに、英語に加えて欧米言語をもう1つ習得することができ、将来のキャリア選択の幅も広がっていると考えられます。

一方、ESG corporate ratings というセミナーを参加して、企業の ESG への取り組み状況や課題解決に向けた意欲、ビジネスに影響を及ぼしそうなリスクの度合いなどを分析・評価することを学んでいます。今後事業環境を取り巻くさまざまな ESG での課題・リスクに対し、解決に向けて企業がどの程度積極的に取り組んでいるかが、重要な評価ポイントとなることがわかりました。それに関して興味があり、将来は ESG コンサルタントになりたいと思います。顧客となる企業にあった ESG 活動を中心に据えた企業の評価を行なったうえで、ESG 投資に向けた戦略の提案・運用を実施することにやりたいです。

また、帰国後は3年生の後期で、環境経済に関する講義に選択したい、さらにその分野について深く勉強したいと考えられます。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

ゲーテ大学は EU の金融の中心地であるフランクフルトを位置しているので、経済学・経営学の研究が盛んでいます。また、学生数にはドイツにおいて最大で、4つのキャンパスでそれぞれ学んでおり、多くの学生が集うキャンパスを跨いだ活発な交流ができます。しかし、キャンパス内やフランクフルト市内でもやはりドイツ語を喋る人が多い、時々英語が伝わらない場合もあり少し不便でした。

もちろん英語による講義があり、語学力を向上することができますが、最初から慣れないため少し不安でした。自分のスピーキング、リスニングなどの実践的な英語力を伸ばしておくことが大切だと思います。また日本人が少ないので、必然的に他国の留学生と交流する時間が長くなります。それはゲーテ大学の良い所だと思います。語学力向上だけでなく、自分の視野が広がるいい機会だと思います。留学先としてゲーテ大学はおすすめです。

留学前、留学中共に大変なことは多々あると思いますが、必ず自分にとっていい刺激になると思います。少しでも迷ったら何事もトライしてみてください。応援しています！